令和2年度 政策討論会全体会議 要点記録

日時 令和3年4月22日(木)
午前10時～午前10時45分

場所 第1委員会室

出席者 座長：河合 馨
副座長：岩崎 雅秋

第一分科会：倉田 賢一郎(座長) 南 加代子(副座長)
殿本 マリ子 烏野 隆生 西田 武史
京西 且哲 松本 妙子 中井 良介

第二分科会：雪本 清浩(座長) 友永 修(副座長)
田中 市子 堂本 啓祐 反甫 旭
河合 馨 米田 貴志 岡林 憲二

第三分科会：稲田 悦治(座長) 宇野 真悟(副座長)
井舎 英生 桑原 佳一 岩崎 雅秋
鳥居 宏次 今口 千代子 岸田 厚

【要点】

○座長

ただいまから、「令和2年度 政策討論会 全体会議」を開催します。

議員の皆様におかれては、昨年7月より、3つの分科会に分かれ、それぞれのテーマについて活発な議論をいただきまして、本当にご苦勞様でした。

本日の全体会議は、代表者会議で定めている「政策討論会にかかる確認事項」に基づきまして、各分科会で作成いただきました提言書等を発表し、お互いに意見交換をするために開催するものです。まず、全体会議の開催にあたり、先にお諮りしたいことがあります。全体会議の進め方については、皆さんのお手元にある各分科会の提言書・報告書に基づき、それぞれの座長が報告した後、そのつど、全員で意見交換を行いたいと思っておりますが、それでよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、そのように進めさせていただきます。お手元の資料ですが、「政策討論会にかかる確認事項」の次に、第一分科会の報告書は資料①-1～①-4、第二分科会の提言書は資料②-1～②-3、第三分科会の提言書は資料③として、お配りしておりますので、よろしくお願ひします。

なお、各提言書等の体裁等につきましては、令和2年度の確認事項に基づき、市長に手渡す前までに、統一したフォントや書式で整えます。

それでは、まず、第一分科会座長から、「町会加入者の減少問題について」ご報告をお願いします。

○第一分科会座長

それでは報告させていただきます。第1分科会 テーマ 「町会加入者の減少問題について」です。

町会・自治会加入者の数は全国で減少の一途をたどっています。そして岸和田市においても全国と同様に町会加入者数は減少傾向にあり、広報紙配布数から見た加入者数の世帯数に対する割合は平成19年4月で84.7%でしたが、令和3年2月には76.4%に減少しています。この背景には、人口減少や高齢化などといった社会問題の深刻化に加え、共働き世帯や単身世帯の増加、賃貸マンションやアパートが増加したことによって、転入出が絶えず行われていることも大きく影響していると思われます。これらの社会問題は、転入者の町会・自治会への未加入や役員のなり手不足、高齢化や固定化などといった問題を生み出し、町会・自治会加入者を減少させる悪循環の原因となっています。

しかしながら町会・自治会の重要性を今一度考えさせられる出来事がありました。それが平成23年3月11日に発生した東日本大震災です。被災地では、多くの自主防災組織によって避難誘導や安否確認、避難所運営の支援や炊き出し等の活動が行われ、このような大規模災害が起きたとき、地域の備えとお互いの助け合いが大きな役割を果たすことが改めて認識させられました。そして本市においても平成30年の台風21号による災害時には、地域住民相互の助け合いやつながりが重要であると痛感しました。

現在では通信機器やSNSなどの発展により世界中のありとあらゆる人々と容易につながりを持つことができるようになりました。しかしその一方で地域のつながりは希薄化しています。地域のつながりというものはSNSのように瞬時に生みだされるものではありません。そこで町会・自治会といった地域のコミュニティが大きな役割を果たすと考え、町会・自治会加入促進を図るため条例を制定することを提言します。

「岸和田市つなげる・つながる町会・自治会条例」

わたしたちのまち岸和田では、海、山など豊かな自然の下、長い歴史の中で育まれてきたそれぞれの地域コミュニティが、今日も受け継がれています。この地域コミュニティにおいては、町会・自治会がその中心的な担い手となり、地域を元気にする自立的な活動主体として、また行政のパートナーとして、豊かな地域社会づくりのため、これまで大いに寄与してきました。

しかし、近年、少子高齢化や核家族化の進行、人々の価値観や生活様式の多

様化などにより、地域コミュニティの希薄化が危惧されています。

一方、地震や台風、豪雨等の大規模災害が頻発しており、人と人とのつながりや絆、助け合いの重要性が再認識されています。

このような認識の下、地域住民、町会・自治会、事業者及び市の相互理解と協働により、より多くの地域住民が参加する町会・自治会の形成と活動を応援し、誰もが安心して暮らせる地域コミュニティの実現を目指すため、この条例を制定します。

(目的)

第1条 この条例は、住民自治の充実による地域の安全と安心を確保するとともに、地域の発展について基本理念を定める。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号の掲げる用語の意義は当該各号に定めるところによる。

(1) 市民 市内に居住する者をいう。

(2) 町会・自治会 一定の地域の市民がその総意に基づき活動する自治組織をいう。

(3) 地域活動団体 その町会・自治会の区域内において主に活動する団体をいう。

(4) 事業者 その町会・自治会の区域内に事務所又は事業所を有する個人及び法人をいう。

(5) 住宅関連事業者 市内における住宅の建築、販売、賃貸又は管理を生業として行う者（これらの代理又は媒介をする者を含む）をいう。

(基本理念)

第3条 まちづくりは住民自治の充実により活性化することから、町会・自治会がその主体を担い地域の発展を推進するものとする。

(市の役割)

第4条 市は、前条に定める基本理念にのっとり地域の発展のために、必要な施策を実施しなければならない。

(市民の役割)

第5条 市民は、基本理念にのっとり自らが居住する地域の懲戒・自治会に加入するよう努めるものとする。

(町会・自治会の役割)

第6条 町会・自治会は、基本理念にのっとり市民が参加しやすい活動を行うよう努めるものとする。

(地域活動団体及び事業者の役割)

第7条 地域活動団体及び事業者は、基本理念にのっとり町会・自治会が行う

活動に協力するよう努めるものとする。

(住宅関連事業者)

第8条 住宅関連事業者は、町会・自治会への加入の促進に関する市の施策に協力するよう努めるものとする。

(委任)

第9条 この条例の施行に関し必要な事項は市長が別に定める。

以上、報告させていただきました。

○座長

報告が終わりました。ただいまの報告について、ご意見等があれば、ご発言をお願いします。

○A議員

質問ですが、この条例で市民の役割、町会の方も役割とか何かが、行動が影響されるという事はあるのですか。

○第一分科会座長

市民の役割ということですが、条例案を見ていただきたいのですが、「市民は、基本理念にのっとり自らが居住する地域の町会・自治会に加入するよう努めるものとする」とあり、あくまでも努力してくださいねということです。強制的なものではありません。ただ、市が条例を制定するということは、市民に努力を促すものです。

○A議員

岸和田には町会が、町会連合会に入っているのは154町会ぐらいであって、あとは自治会とか入っていないところがたくさんあって、私も実態はよくわかっていないんですね。近年、町会離れという現象は聞きます。それには、いくつかの理由があります。それは、社会の変化というのは当然あるんですけど、町会を脱会するという市民も時々聞くんですね。なにが原因かというとな非常に町会運営が硬直化しているとか、会計が不明瞭という良くないうわさも聞きます。役員になりたくないとか、そのへんの町会のあり方も役員に負担がかかっているなどの現状の理解も、もう少し必要かなと思います。

それと、もう1点、第2条の(3)の地域活動団体というところに「主に」という文字がありますが、「その町会」の前に「主に」を入れればすっきりすると思います。

○座長

第一分科会座長それでいいですか。

○第一分科会座長

はい。

○座長

他にありませんか。ないですか。

○第一分科会座長

これちょっとご覧いただきたいのですが、先ほどのA議員の質問にも関することですが、町会連合会がいろんなところに掲示していますが、私も見かけたことがあります。このポスターには「町会・自治会に加入しましょう」と書かれていて、その次に「町会・自治会費は環境美化運動に使われています」と書かれています。4種類ありますが、町会・自治会費がいろんなところに使われていますという看板です。町会連合会が町会加入者の減少、また脱会にたいへん危機感をもって掲示しています。なので、我々第一分科会の提言と完全に一致する内容です。市と町会連合会がしっかりと力を合わせ、今後の町会のあり方を考えていかないといけないですし、また加入促進をしっかりしていかないといけないということで、町会連合会としっかり協働で進めていきたいと思っています。

○座長

ご苦労さまです。1点だけ、先ほどのA議員の質問について、このままで良いのか、それとも修正をされますか。

○第一分科会座長

修正すると意味が変わってしまうので、修正せずこのままでお願いします。

○座長

それでは、第一分科会の「町会加入者の減少問題について」は、このままで提出させていただきます。これで第一分科会の報告を終了します。

次に、第二分科会座長から、「競輪場を活用した観光促進」についてご報告をお願いします。

○第二分科会座長

それでは、第二分科会の「競輪場を活用した観光促進について」の提言書を報告します。

[テーマ]

「競輪場を活用した観光促進について」

[主旨]

競輪場は、これまでギャンブル利用者の施設として市民に認識されてきた。しかし、競輪は「KEIRIN」として、オリンピック競技でもあり、世界的に人気を博すスポーツ競技である。国内でも、自転車競技熱は過熱しており、各地でサイクルルートが整備されている。例えば、関西の大きなサイクルルートでは、琵琶湖を中心とした「ピワイチ」、淡路島を中心とした「アワイチ」、そして「しまなみ街道」等々があり、岸和田市も泉州サイクルルートとして、その接続ロードに位置している。本市の競輪場は関西国際空港にも近いことか

ら、サイクリストたちの拠点として活用していくことで、観光促進に大きく繋げていくことができるのではないかと考える。そのために、岸和田市としてどのように進めていくことができるのか、また、進めていくべきなのかとの観点から「競輪場を活用した観光促進について」をテーマに政策討論を行った。

〔課題〕

競輪場と聞くと、ギャンブルのイメージが強く、そのイメージが岸和田市民にも強く根付いている。公営競技事業として車券等を扱っているため、どうしてもギャンブルとしての一面を避ける事は出来ない。しかし、競輪は自転車競技のスポーツであり「KEIRIN」へと新たなイメージを発信していくことが重要と考える。そのためには、市民に幅広く「KEIRIN」が認知されるよう、市としての周知活動を強化すべきである。

1. 競輪場の施設について、老朽化が進んでいるためやむをえないが、暗く閉鎖的である。また、駐車場は全面の舗装がなされていない為、砂利が多く見栄えも悪い。さらに、入場者は年配者が多く、開かれた雰囲気あまり感じられない。市内外から広い世代の人々が集まれる場所として整備し、全体的に明るい雰囲気にすべきであり、特に外観は、色調や構造など見栄えの工夫が必要である。
2. 競輪場の運用について、本場開催は、年間40日程度である。学生などの競技団体が競輪場を利用し、実際に競技やイベントを開催しているが、本市独自のスポーツプログラムが無く、周知もされていないため、殆どの市民が認知していない。市民にも施設を開放し、身近に感じられる活用方法の検討が必要である。
3. BMX競技を実際に運営しているNPO法人ドゥールースには、日本人初のBMXでオリンピックに出場された方がコーチングするクラブチームがある。加えて、施設内には、国内BMXコースの中でも屈指のスタートヒルが設置されている。また、ドゥールースによる独自の取組みとして、地域の幼稚園等に出向き、自転車の乗り方や安全教室を行ったり、地域の産業とコラボしながらイベントや大会を開催したりするなど、多数の来場者があり、賑わいを創出している。しかし、本市としての周知活動が不足しており、岸和田市民の認知度が低い。本市も連携を密にし、さらなる賑わいの創出へ支援を強化すべきである。
4. KIX泉州ツーリズムビューローについて、DMO化を進めており、泉州地域広域観光連携協議会にワーキングチームを設置し定期的に会議を行っている。また、泉州観光地域づくり連携協議会を立ち上げ、現在、31事業者が参加し連携協議を進めている。しかし、9市4町における捉え方の温度差が大きいのが現状である。本市においては、競輪場を活用して欲しいとこ

ろだが、K I X泉州ツーリズムビューローのコンテンツとしての考えには及んでいないのが事実であり、本市から積極的な連携を図り活用されるよう働きかけるべきである。

[課題解決へ向けて]

- ① 競輪場を活用した観光促進を進めるには、公営事業所や観光課だけでは部局の違いもあり実現は難しい。根本的に競輪場のあり方を変える必要があるため、公営競技事業と競輪場施設運営を総合的にプロデュースできる民間事業者へ委託すること
- ② ビワイチ、アワイチ、しまなみ街道など近隣の国内人気サイクルルートには、観光と宿泊施設の整備が充実している。しかし、本市にはサイクリストが利用しやすい宿泊施設が少ない。そこで、民間ホテルを誘致し、本場開催日（年間40日程度）は選手宿舎として利用するが、本場開催日以外は一般でも利用ができるようにすること
- ③ BMXコース及びスタートヒルの国際基準化と、BMXフリースタイルコースやスケートボードエリアの設置、そして、十分な観覧スペースを整備すること
- ④ 総合サイクルステーションとして、サイクリストが休憩・食事・シャワー・仮眠・自転車修理などができる環境を整備し、競輪場を拠点に市内観光地を巡る本市主催のサイクリングコースを設定するなど、泉州サイクルルートに繋げ、広域からサイクリストを呼び込めるように整備すること
- ⑤ 本場開催でない期間は、バンクを一般開放し定期的なサイクリングイベント（メーカーによる展示会や催事）本市が企画するスポーツプログラム及び各種フェス会場として企画・活用すること。そして、本市内外に様々な媒体を駆使して周知活動を充実させ賑わいを創出し、競輪場を（仮称）サイクルパークとして老若男女が集い、憩える場（公園）として整備すること
以上、提言する。

[担当部課名]

（主要担当部課）

公営競技事業所

魅力創造部観光課

生涯学習部スポーツ振興課

（民間ホテルの誘致に関して）

魅力創造部産業政策課

まちづくり推進部都市計画課

まちづくり推進部建設指導課

（サイクリングコースの設定に関して）

まちづくり推進部市街地整備課
建設部建設管理課
建設部高架事業・道路整備課
(公園の整備に関して)
まちづくり推進部都市計画課
建設部水とみどり課
(総合計画に関して)
総合政策部企画課

以上です。よろしく申し上げます。

○座長

報告が終わりました。ただいまより報告について、ご意見等があればご発言をお願いします。

○B議員

なかなかおもしろい提案であると聞いていました。ちょっと1点気になるのが課題のところの4番で、K I X泉州ツーリズムビューローとの連携ですが、課題解決へ向けての中にK I Xのくだりがないのですが、ここも課題の解決に向けてのひとつに手だてということを前のところで述べてあるのであれば、もうひとつここにK I X泉州ツーリズムビューローとの連携の具体策的なものがあったらいいのではないかと思いますがいかがでしょうか。

○第二分科会座長

色々議論があったのですが、ここで具体的に書けるかというのと、全体的に課題抽出から主旨までやっていますので、そのへんは汲んでいただいて取り組んでいただけたらと思っていますので、そのへんは具体的には記入しませんでした。

○第二分科会副座長

K I X泉州ツーリズムビューローが考えているサイクリングコースの中にいろいろなサイクルステーションがあるのですが、競輪場を我々としては入れて欲しいのですが、そのコンテンツの中に入っていないということを聞いたんです。課題解決へ向けての4番目の本市主催のサイクリングコースを設定して、K I X泉州ツーリズムビューローのサイクリングコースに繋げていくことを岸和田市としてやっていくべきであると考えています。

○C議員

B議員からたいへんキーワードとなる提案をいただきました。おっしゃる通りです。今回ここに「DMO化を進めており」とありますが、3月31日にDMOが認められたということがありますので、そういう意味ではDMOに働きかけていくことが大切な事だと思いますので、そこは私としてはどう扱うべき

かと悩んでしまっているところです。

○B議員

岸和田は今、K I X泉州ツーリズムビューローの副会長であると思います。今も職員が派遣されていると思います。そうすると、かなり連携がとれると思いますし、もちろん広域での観光の提言をメインにしているという思いがありますので、具体的に課題解決に向けたパートナーとしてももう少し突っ込んだ形での連携が取れると思います。そこはあった方が良くと思います。

○座長

4番のK I X泉州ツーリズムビューローについては、どのようにしていきましょうか。どのようにまとめていきますか。

○第二分科会座長

市長部局の、本市の中であれば詳しく書けるのですが、DMOのところを具体的に書くのはいかがなものかと思っています。市の職員を派遣して副会長にもなっているのですが、そこまで具体的に書いていいのかどうかというのがありましたので、原文のままでもいいと思います。

○座長

どのような進めにいたしましょうか。第二分科会座長が言われましたが、他の分科会の議員も含めてそれでよろしいでしょうか。それとも、C議員が言ったように、中に解決策として組み込むのか、ご意見があれば。

○第二分科会座長

もし協議となればまた新たにやりますか。

○座長

今日は協議ではなく発表の場ですので、仕上げていただかないと。持って帰ってとなると、また全体会議を開かないといけないので、提言書を持って行く予定も変わりますし、ここでまとめていただきたい。

○第二分科会副座長

B議員のご指摘通りだと思います。岸和田市としてはK I X泉州ツーリズムビューローのコンテンツに入れていただくための何かアクションをしなければいけないという観点から我々は議論したと思うんですよ。だから、重複しますが、岸和田市独自のサイクリングコースと競輪場の整備を行って、コンテンツに入るように連携・PRを取るように働きかけていこうという主旨と思うので、そこを強調してとなると話が変わってくると思うんです。

○座長

最後にまとめていただけませんか。

○第二分科会座長

当分科会といたしましては、この原文で提出させていただきたいと思います。

○B議員

DMO化のところは変えないといけない。

○第二分科会副座長

「DMO化を進めており」を「DMO化されましたが」という意味の言葉に訂正したいと思います。

○A議員

市民の方も読まれるので、DMOの横に日本語で載せてはと思います。

○座長

第二分科会として、どのような文言にしますか。

○第二分科会座長

「DMO化をされたK I X泉州ツーリズムビューローについて」に変更します。

○座長

B議員いいですか。

○B議員

はい、いいです。

○座長

それでは、第二分科会座長からの変更でよろしいですか。A議員の提言に対しては、このままでいいですか。

(「よろしいです」の声あり)

○座長

他にありませんか。

(「なし」の声あり)

ないようですので、第二分科会の報告を終了します。

次に、第三分科会座長から、「公契約のあり方について」ご報告をお願いします。

○第三分科会座長

「公契約のあり方について」の提言書を第三分科会から報告します。

[現状と課題]

市が行う公契約には、様々な形態があるが、官製ワーキングプアの問題が取りざたされる中、労働者の賃金を守り雇用を守る「公契約条例」導入の必要性が増している。しかし、「公契約条例」を導入している自治体が多くないのは、工事原価の高騰につながるなどの問題からと考える。

これに対して、本市には、公契約条例はなく、また研究検証も行われていない。過去には本市でも、指定管理事業者が労働基準監督署より指摘を受けた事例もあった。

そして、本市における公契約の現状は、透明性や運用に課題がある。近年では、プロポーザル契約や指定管理が増加しているが、これらについては契約検査課を通さず、担当部・担当課が独自の基準で行っており、契約内容や運用等について疑義が生じている。契約に当たっての判断と責任を明確にし、市民に対して納得のできる説明ができることが当然である。

これらの現状及び課題を受けて、次の通り提言する。

[提言]

- ・担当部・担当課が独自に行っているプロポーザル契約等についても、契約検査課が統一的な様式を作成し、疑義が生じず、競争性・透明性・公平性を担保できるようにすること。
- ・長期継続契約等、複数年度にわたる契約について、担当部・担当課が責任を持って管理・監督を行い、契約内容が着実に遂行されるようにすること。
- ・他市で制定されている公契約条例について、本市の状況を考慮の上、特に雇用と最低賃金を守る観点から検討・検証をすること。

[担当課]

総合政策部企画課・総務部契約検査課

以上でございます。

○座長

報告が終わりました。ただいまの報告について、ご意見等があれば、ご発言をお願いします。

(「なし」の声あり)

ないようですので、第三分科会の報告を終了します。

ただいま、各分科会からの報告と意見交換が終了しましたが、この際、分科会や全体会議のあり方などについて何かご意見等があれば、ご発言をお願いしたいと思います。

○第一分科会座長

第一分科会の追加で、補足させていただきたいのですが、資料①-1の一番最後の方で、「別紙の通り条例を制定することを提言する」と締めくくらせていただいているのですが、第一分科会といたしましては、条例案として作成させていただきましたが、この先、市議案として議会の方で取り扱っていただきたいと思いますのでよろしくをお願いします。

○座長

第一分科会座長から提案がありまして、提言書ということで市長には3分科会の提言書は私からお持ちしたいと思います。今の最後の「条例を制定することを提言します」を含めて市議案として進めてほしいという申し出がありました。これにつきまして今後、幹事長会等で諮りまして取り計らいたいと思

いますので、その点は一旦お預かりするという形で進めさせていただきます。

他にありませんか。

(「なし」の声あり)

それでは、これをもちまして、「令和2年度 政策討論会全体会議」を閉会
します。